

# 第2学年 学級活動 指導案

指導者 山梨市立山梨南中学校 古屋秀輝

## 1. 題材 「学園祭に向けたクラスを取組を考えて決めよう」

活動内容 (1) 学級や学校の生活づくり

(ウ) 学校における多様な集団の生活の向上

## 2. 題材について

### (1) 生徒の実態

男子 15 名 (含特支 1 名 KK), 女子 14 名 (含特支 1 名 MK), 計 29 名のクラスである。夏休みの終わりをもって女子 1 名が転出となり, この人数となった。1 学期の終業式後の学活で, この生徒に対して写真や寄せ書きを渡したり応援をしたりして, とてもいい別れ方をすることができた。普段はおとなしい生徒が多く, 日頃のあいさつや授業の反応などはある程度決まった特定の生徒に任せてしまっているように感じられる。そのことを課題だと気付いている生徒もいるが, 改善させるための行動に移すことができていない。一方で, 給食の準備を早くすることができるようになり, それが習慣となってきた。頑張ることや早いことはいいことだという価値観を持つ生徒が増えてきて, 片付けもしっかりとするようになり, 昼休みを有意義に過ごすようになった。

男子 KK は, 体は大きい内面は幼くて, 能力が低いのにいろいろやりたがる生徒である。仲間に対しても乱暴な言葉を使ったり手を出してしまったりしたことが時々あり, 今年度は授業中に先生に対して失礼な態度をとってしまい指導を受けたことがあった。同じ小学校出身の生徒や同じ部活動の生徒と一緒に活動しサポートするようにしている。

女子 MK は, とても静かで真面目で優しい生徒であるが, 困った事が少しでもあると涙をボロボロ流して泣いてしまう。コミュニケーションを取るのが苦手で, さらにこれまで仲が良かった生徒と話題がずれてしまったことで会話がさらに減り, 孤立していると感じる気持ちが強くなり, 欠席が増えてしまっている。特別支援学級の担任や支援スタッフに関わってもらう機会を増やすことで, 表情がだいぶ柔らかくなってきた。

### (2) 題材設定の理由

1 年間でクラスが団結する最大のチャンスである学園祭を「学校生活の延長である」ととらえ, 目標と目的を区別して, 自分の持つ力をクラスに貢献しようとする事で毎日の学校生活を充実させようとする気持ちを育みたい。また, 転出した生徒も含めて 30 人を全員と考える優しさや, 苦しい思いをしている仲間の手を差し伸べることのできる温かい気持ちでクラスを支えてほしい。そのような心を持つ生徒がさらに増えることを期待して, 本題材を設定した。

## 3. 題材の評価規準

感心・意欲・態度	思考・判断	知識・理解
自分の意見を伝え, よりよい取組を設定しようとしている。	他者の意見を聞き, 折り合いをつけながら, ねらいに沿った取組を設定しようと思えることができる。	クラスの現状を踏まえて, 適切な取組を考えることができる。

#### 4. 題材のねらい

- ・自分の意見を他者に伝え、他者の意見を聞き、折り合いをつけて取組を決めることができる。
- ・全員で決めた取組を実行するために、自分にできることを精一杯頑張ろうとする気持ちを高める。

#### 5. 事前の活動

- ・4月から、教科係や委員会、校内陸上記録会の種目などを決める時には「全員で（欠席している仲間のことも考えて）」「話し合いで」決めることを徹底してきた。学園祭で所属する実行委員会もこれまでと同様に、まずは第1希望を聞き、それからは話し合いで決めた。
- ・給食の準備を早くすることにこだわり、自分たちで時間を生み出すようにしてきた。
- ・全校で学園祭に向けた決起集会を行い、「NEXUS ～十人十色の翼を持って～」をスローガンに、全校で一体となって日常生活を大切にしたり学園祭を成功させたりする決意を固めた。
- ・1学期でのクラスの良いところと悪いところをアンケートで答えた。

#### 6. 本時の学習

(1) 日時 平成30年8月29日(水) 14:00～14:50

(2) 場所 山梨市立山梨南中学校2年4組教室

(3) 展開

	学習活動	指導上の留意点	評価方法など
導入 10分	1. 「今日のめあて」を提示する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">             今日のめあて              友輝祭に向けたクラスの              取組を考えて決めよう           </div> 2. 友輝祭の目標と学級目標を再確認し、ワークシートを配布してクラスの良いところと悪いところをまとめたものを確認する。	学園祭は日常生活の延長であることを確認する。 これまでのクラスの写真を見せ、頑張ってきたことを振り返らせる。 目標と目的を区別して考えることを確認する。	
展開 10分	3. ワークシートを利用して、クラスの悪いところを改善させる取組を個人で考える。	罰を与えるようなものは避けるようにさせる。	知・理(観察・ワークシート)
25分	4. 個人で考えた取組を班で発表しあい、良いと思ったものを用紙に記入して机に並べる。 5. 班長を中心に折り合いをつけて話し合い、出した意見をひとつに絞っていく。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">             折り合いの視点              ①目標や目的とのつながりがある              ②仲間とのつながりがある              ③今後の学校生活に生かせる           </div>	進行係を班長に、記録係を副班長にそれぞれ任せる。 他人の意見は否定せず、配慮した言葉を使うようにする。 「ピラミッドチャート」を使う。	関・意・態(観察)  思・判(観察)

まとめ 5分	6. 各班で絞った取組を発表し、全体で共有する。 7. 今後これらの取組を振り返る時間をとることを確認する。		関・意・態 (観察)
-----------	---	--	---------------

7. 参考資料

『中学校 言語活動ハンドブック』 山梨県教育委員会

8. ワークシート

## 学活ワークシート

**2年 4組 氏名** \_\_\_\_\_


**友輝祭の取組期間でクラスを改善させる取組を考えよう!**

☆私が考えた友輝祭に向けた取組

クラスの改善点	具体的な取組

☆班で話し合う時の「折合いの視点」

① \_\_\_\_\_との つながりがある    ② \_\_\_\_\_との つながりがある    ③ \_\_\_\_\_に つながる

☆各班から発表されたクラスで取組むこと 


## 良いところ

### やる気

- 明るい・元気・おもしろい
- 協力する
- 一つの目標に向かってみんなで協力し頑張っている
- 動きに一体感がある
- 積極的に取り組める
- 目の前のことに一生懸命取り組んでいる

### 日頃の行動

- 給食の準備が早い
- 掃除をしっかりとしている
- 一人ひとりの仕事をしっかりとしている
- 礼儀正しい
- 大きな声を出そうと頑張っている

### 仲間

- いじめがない
- 仲間はずれがない
- 男女でしっかりつながりがある・男女の仲が良い
- 困っている人を助けてあげられる・すぐに手伝ってくれる
- ケンカがない
- みんな優しい・思いやりがある
- 誰とでも仲良く話したいしている

### けじめ

- 授業と休み時間の区別がついている

## 悪いところ

### あいさつ・反応・積極性

- 朝のあいさつがとても弱い
- あいさつが小さい・誰かが言うまで待っている
- 返事や反応がない・反応が鈍い・差が大きい
- 発言が少ない
- 人の裏に隠れて声を出さない人がいる
- 温度差があるからみんなでひとつになれていない
- 積極性がない
- 自己中が多い
- 「やるべきだけやる」という感じがいつもある

### 日頃の行動

- 行動が遅い
- 忘れ物が多い
- 同じことを何度も注意される
- 当たり前のことが当たり前にできない

### 仲間

- 仲の良いグループで分かれてしまっている
- 特定の人としか話をしない

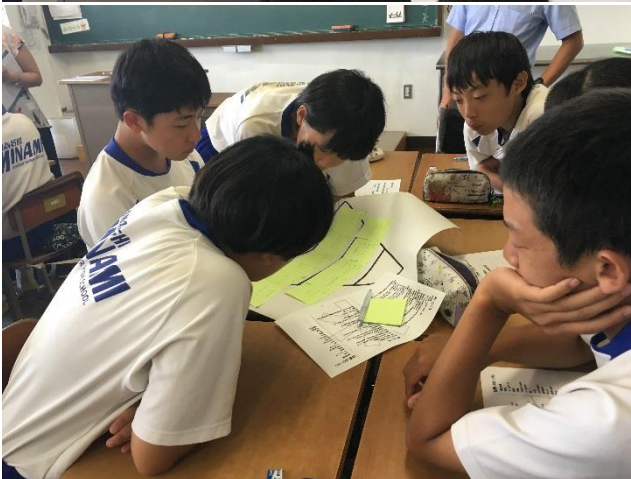
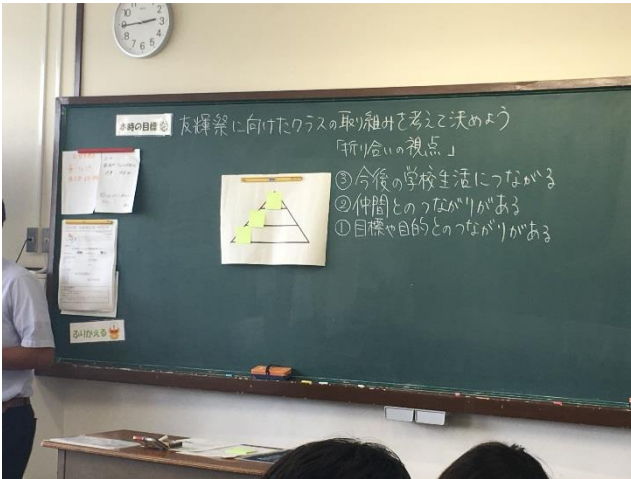
### けじめ

- ふざけやすい・うるさい
- 時間に少しルーズ
- けじめがつかない・休み時間と授業の切り替えが遅い

## 目標・スローガン

- 我武者羅
- 協力
- チームワーク
- 団結
- 友情
- 力を合わせる
- 一つになれ
- 絆
- 元気
- あきらめない
- 最後まで
- 楽しむ
- 動かし合い
- 全力
- 最強
- 勝つ
- 必勝
- 完全勝利
- 油断禁物

## 9. 当日の様子



## 10. その後の研究会で出た意見

- 事前の指導案検討で出された意見が反映され、ワークシートや授業の展開が生徒の実態によりあっているものとなっていた。頑張ったことを思い出すことができたので、気持ちを開放して授業に臨んでいた。
- 普段はとてもおとなしいクラスだが、ほとんどの生徒が意欲的に意見を出したり話し合い活動に参加していたりした。
- 「折り合い」をつけて意見をまとめるときの進め方が、ひとつひとつ順に進めていったのでよかった。
- 補助的な指示が効果的だった。ぼんやりとイメージが湧いているが取組を書けない生徒にとって「具体的な取組を書こう。例えば・・・」といった指示があったおかげで書けるようになった生徒がいたり、「否定的な反応をしない」と伝えただけで生徒の表情が柔らかくなりより活発な話し合い活動になっていた。
- 特別支援の生徒を生徒同士で支えあおうとする言動が見られた。普段の指導の成果であると感じた。
- △「折り合い」の視点をもう少し変えたらよかったのではないか。「評価しやすい」や「振り返りやすい」といった視点があってもよかったのではないか。
- △話し合いを進める班長のスキルアップが必要であった。話し合いを進めるシステムや形を提示しておくほうがよかった。
- △「折り合い」をつけて意見を絞っていく段階で、なぜその意見を上げるかの理由をつけて説明するようにさせたかった。
- △重点的に取り組みたいことを前もって指定しておけば、意見が散らかることがなかった。

## 11. その後の生徒の様子

- ・授業を終えた生徒の感想に、「楽しかった」や「みんなで考えた約束を守りたい」などといったものがあった。
- ・朝の会や帰りの会の時間が短くなってしまい、それぞれの取り組みに対して確認したり振り返ったりする時間が足りなかった。
- ・話し合いをしてから掲示物を作るまでに日数がかかってしまい、間延びしてしまった感があった。
- ・『班でその日の発言・反応の目標を立てて、1日どうだったのかを振り返る』は、目標を立てて振り返れる日もあったが、できない日もあった。
- ・『忘れ物のグラフを作って班ごとに集計して記入する』は、学園祭直前の1週間の様子のみをまとめることしかできなかった。差が目に見えるようになって、お互いに声をかけるような姿が見られた。
- ・『わかるなら積極的に発言する・わからなければわかる人に聞くなどする』は、意欲がある生徒とそうでない生徒の差が大きくなってしまった。
- ・『あいさつを誰が一番早く言えるか選手権』は、早く言おうとする生徒がいなくて該当者なしとしてから、意欲が見られなくなった。
- ・『自分からいろいろな人に話しかける・中間のいいところに目を向ける』は、取り組みの最中に「学園祭が終わったらメッセージカードを送り合うから、中間のいいところをたくさん見つけておくように」と伝えておき、直後の道徳を2時使ってメッセージカードを送りあった。「自分では気付かなかった所が書かれていてびっくりした」といった感想から「クラスの人の良い所をたくさん見つけることができた」「いろんな人に伝えられて良かった」「しっかり保管しておきます」といった感想まで、様々だった。普段目立たないけれどちゃんと仕事をしている生徒が中間から認められる良い機会とな

った。

- 『朝の会の前に全員で声出しをする』は、朝の会の前に学年合唱の練習をしているので、そのままのペースであいさつをしようと決め直した。
- 学園祭当日では、長縄跳びで上位には入らなかったがこれまでの記録を更新できて、悔しさもあったがとても満足そうであった。(52回)自信があったムカデ競争では学年で2位, 全校で4位に入賞し, 人橋渡りでは学年1位になり, ニコニコしながらガッツポーズをして喜ぶ生徒の姿が見られ, これまでに見られなかった開放された感情の表現をしていた。翌日の合唱では, 前日の体育の部で声を出しすぎてしまい思うように声が出ない中だったが, 全員がとても一生懸命になって歌っていた。入賞はできなかったが, 取り組み期間中は指摘に対して素直に受け入れてすぐに改善させようとしていて, 中間発表会からの上達が見られた。学年合唱がとても上手で, 歌っている自分たちでも大きな充実感を味わっていたようだった。フロンティアヴォイスの方に褒めていただいていたというエピソードがとても嬉しかったようだ。